

通学区域の再編に関する意見交換会

令和6年1月14日(日) 午前9時30分～10時30分

(出席者)

未就学児保護者：5世帯

(参加者)

教育部：池田副部長

学務課：毛利副参事・石井主任

教育総務課：新井主査・堀主任

(教育委員会の説明)

令和5年12月鴻巣市議会定例会にて、令和7年3月31日をもっての小谷小学校の閉校が決定した。

現在は、鴻巣市立小・中学校通学区域審議会にて、箕田小学校、赤見台第二小学校、吹上小学校への通学区域再編に向けて、学校関係者をはじめ、保護者や地域の皆さんと共に検討を進めている。

12月27日に第一回鴻巣市立小・中学校通学区域審議会を開催し、諮問しているが、1月26日開催の第2回目に向けては、当事者となる未就学児の保護者の皆さんの意見が重要であると考え、本日の意見交換会を開催させていただいた。

各地区の指定校については、明用及び前砂地区は吹上小学校から吹上中学校、三町免及び小谷北地区は赤見台第二小学校から赤見台中学校、小谷南地区は、箕田小学校から赤見台中学校としている。

これまでの市内の学校統合においては、在校生は全員が同じ小学校へ通えることとなっていることから、小谷小学校においても、在校生は可能な限り皆で、同じ学校に行くことができるよう、吹上小学校及び吹上中学校への通学を選択できるといった、経過措置を設けたいと考えている。

(主な意見とそれに対する回答)

・小谷北に住んでいるが、今までは小谷小学校まで徒歩3分で通学ができていた。しかし、赤見台第二小学校に行くのは1km近くになる。想定している通学路はあるのか。また、その通学路を実際に歩いているのか。

⇒現在も小谷地域や中井地区から赤見台第二小学校に通学している児童がいることから、その通学路を想定している。想定している通学路については、朝の時間帯等、実際に歩いて確認している。

・小谷地域は朝のスピードを出している車、夜の暗い道、不審者も多く、危険な地域。スクールゾーンの配置等、通学路の安全性は検討しているのか。

また、スクールガードリーダーといった地域で見守りをさせていただいている方々も高齢化している。保護者が見守りをするにしても、各家庭の事情で協力できない人は多い。小谷小学校の運営費が削減できたのであれば、通学路の整備にお金をもらいたい。

⇒街灯が少ない、不審者など防犯面と教育の問題は別に考える必要がある。防犯については担当部署に

て、優先順位を決めて対応していると考えられが、改めて情報共有させてもらう。

教育委員会としても安全第一と考えている。すでに中山道と踏切を超えて、通学している赤見台第二小学校の児童はいることから、その通学路を使用するのが一番安全ではないかと考えている。

小谷南の児童についても、武蔵用水路脇の県道は朝の交通量が非常に多いことから、横断歩道の設置について、警察と協議している。

通学路の安全が確保できない学校を指定校にすることはできない。もちろん、保護者にも見守りをお願いするが、教育委員会としては地域全体で子どもたちの見守りをお願いしたい。

在校生は、吹上小学校までスクールバスにて通学支援を行うことから、再編後すぐは、箕田小学校や赤見台第二小学校に行く児童が少ない事や、低学年だけになってしまう可能性はある。

そのような状況でも安全に通学できるよう、これまでと同様に地域の方々に見守りをお願いするが、高齢化等により難しい場合は、業務委託といった方法も検討していきたい。

・吹上小学校までスクールバスで通学できるのか。

⇒過去の学校統合においても、在校生は全員で同じ学校に移っている。小谷小学校においても同様に、少なくとも在校生については全員で同じ学校に通学する選択肢を残せるよう、吹上小学校への通学を認めたいと考えている。その際、吹上小学校から直線距離で2 km を超える地域もあることから、その児童に対してはスクールバスでの通学支援が必要となる。

しかし、将来的に延々とスクールバスを運行することは、他の地域との均衡を考えると難しい。

・いつまでスクールバスを出す考えなのか。

⇒令和6年度時点の小谷小学校在校生が卒業する令和11年度までを検討している。

・三町免地域に住んでいるが、中山道の交通量や車の速度等を考えても、赤見台第二小学校に通学するのは考えづらい。

令和11年度までのスクールバス運行になった場合、令和7年度に入学する児童は5年生まではスクールバスを利用できるが、最後の1年はスクールバスを利用できず、保護者の送迎が必要になってしまう。スクールバスの期間について、配慮してもらいたい。

⇒市内の均衡を保つのが非常に難しい。スクールバスの運行に関しては、当然に理由が必要となるが、教育委員会としては、近い学校へ既に通っていた在校生の通学の負担を極力少なくするため、令和6年度に小谷小学校に最後に入学した児童が小学校を卒業する11年度までを区切りとしてスクールバスの運行を行いたいと考えている。

・乗降場所はどこになる。

⇒現時点では2カ所設置したいと考えている。一つは小谷小学校又は小谷学童近辺。もう一つはウイスキー工場や日枝神社周辺。小谷南は交通量が少ないため、道端に停車しても良いのではないかと意見をいただいているが、教育委員会としては、安全な乗り降りのためにも、子どもたちが短い時間でも待ってられるような乗降場所を設けたいと考えている。

・乗降場所までは必ず保護者が送迎しなくてはならないのか。

⇒現在、運行しているスクールバスでは、登校及び下校時に集合場所で見守る保護者もいるが、大半の保護者は見守りや送迎は必要としていない。教育委員会としても、徒歩通学と同じ考え方で、乗降の際の見守りや送迎が必要とは考えていない。

・下校時刻は各学年で異なると思うが、どのように運行するのか。

⇒各学年の下校時刻に合わせてスクールバスを運行する。

・小谷北に住んでいるが、家が土手際で赤二小学校から道のりで2.5kmくらいある。三町免地域や赤見台第二小学校の児童と合流できるのは最後で、長距離を一人で歩き、合流する頃にはバテバテになってしまい、線路にたどり着いた時には疲れやのどの渇きで誤った判断をしてしまう可能性がある。

また、赤見台第二小学校へ向かう通学路は昔から不審者が多く、交通量が多い道路を横断するといった危険性もある。

そのようなことを考えると、小谷南地域の児童と一緒に箕田小学校に通学した方が安全と考えている。指定校ではない学校の選択を認めてもらえるのか。

⇒小谷小学校に通学するつもりで、すでに小谷地域に住んでいる方と、統合が決まった後に小谷地域に住み始めた方とは事情が異なるため、何かしらの配慮が必要と考えている。それが学校の選択なのか、スクールバスによる通学支援になるのかは通学区域審議会で検討していくことになる。仮に選択を認めることになった場合でも、あくまで選択制を推奨するものではなく、各家庭からの相談の上、対応していくものと考えている。

・上の子どもが箕田小学校を選択した場合、下の子どもも箕田小学校を選択できるのか。

⇒現在でも、兄弟姉妹が同じ学校に通えるよう、上の子の指定校変更を認めた場合は、下の子も認めている。

・直近30年で吹上小学校や赤見台第二小学校が廃校になる可能性はあるのか。

⇒学校区域ごとのデータがないことから、現時点で30年後の閉校に関することは予測できない。

吹上地域の中で、北新宿地区の児童数が増加しているが、他の地区の児童数は減少している。

少なくとも、この10年で赤見台第二小学校や吹上小学校がなくなることは予想していない。

赤見台第一小学校や赤見台第二小学校も過去と比較すると児童数が減少しているが、住んでいる方々も入れ替わってきており、減少幅は落ち着いてきている。

・先日、小谷小学校に入学するにあたり、学用品を購入する場合、1月18日までに回答が欲しい旨の通知が届いた。

令和6年度から吹上小学校に入学することを希望しているが、これは提出しなくても良いのか。

⇒令和6年度から吹上小学校に通学することを希望しているかについては、小谷小学校と調整している。どのような入学手続きをしていただくかについては、2月下旬に決まるので、それ以降に手続きをしてもらうことになる。現時点では、提出する必要はない。

・PTAに関する説明会等も出席しなくて大丈夫なのか。

⇒PTAについては、2月上旬の説明会にて、お話をさせていただき予定になっているが、これについても2月下旬以降に具体的な入学手続き方法が決定した後に、改めて連絡させていただく。

・小谷南地域から箕田小学校への通学路について、横断歩道だけでなく、手押し信号はつかないのか。

また、フェンスや側溝の蓋もつけてもらえるのか。

⇒現在、検討しているのはアドマーニの前又は箕田水上公園付近に横断歩道を設置したいと考えている。手押し信号についても、検討当初に警察に要望を出したが、そちらについては難しいとの回答があった。アドマーニ側については、橋が二つあり、その内の一つが狭く、見通しも悪いというように警察では考えている。

フェンスや側溝の蓋に限らず、横断歩道を使用する際の待機場所の設置など、安全な整備ができていないと、横断歩道は設置してもらえないため、市としては必要に応じて、整備していく。

・小谷南地域の児童が一人しかいない場合、箕田小学校まで一人でいくのか。それとも、箕田地域の児童と合流するのか。

⇒できる限り通学班を組んで登校してもらいたいと考えているが、一人で歩く区間が長くなってしまうのであれば、何かしらの対応を検討しないといけない。

また、横断歩道には交通指導員を配置する必要があると考えている。

・交通指導員は、登下校ともに配置してもらえるのか。

⇒全地域共通ではあるが、登校時は交通量も多く危険なことから、指導員を配置するが、下校時は、交通量が多くないことから、配置は考えていない。

・(事務局) アドマーニ側と箕田水上公園側であれば、どちらに横断歩道を設置したほうが良いか。

⇒アドマーニ側にある二つ目の橋は狭く、カーブにもなっていることから、見通しも悪い。

(事務局) 箕田水上公園側を第一候補として考える。

・どのような通学路を検討していて、どこを整備するのか、検討している事項を一覧にして示してほしい。

また、いつ頃整備を行うのか。

⇒必要な整備については、通学区域の再編が行われる令和7年度4月までに行う。

令和6年度に教員、PTA等、学校関係者と具体的な内容について話し合う。会議の内容等については、その都度HPに掲載するので見ていただくことができる。最終的には決定した通学路については、入学説明会の際などに、学校からお知らせすることとなる。